

認知症に関する活動計画（概要）

静岡県作業療法士会では、学術部内に認知症班として位置付けて活動している。認知症班にはSIGとWGがあり、SIGではアップデート研修会やステップアップ研修会を開催している。WGでは、RUN伴への参加や地域の研修会の講師を行ったり、外部に向けての発信をしている。現状ではコロナ禍の影響により、認知症カフェや家族会との関りができていない状況にある。今後は、県士会員の認知症関連事業に参画して情報収集を行い、実態調査を行っていく。また、地域や会員から求められていることの架け橋になれるように、情報交換会を企画していきたい。

研修会事業

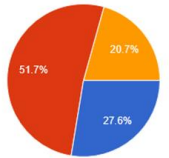
昨年度は、コロナ禍の影響によりZOOMによるオンラインでのアップデート研修会を開催した。参加者は40名であった。研修会の満足度は80%程度と高く、オンラインでの研修会は好評であった。

今年度も、10月にアップデート研修会を行う予定である。また、今年度は鹿児島大学の田平隆行先生をお招きし、ステップアップ研修会を12月に開催する予定である。

研修会の内容について

29 件の回答

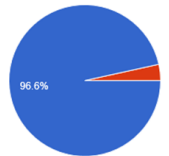
- 満足
- ほぼ満足
- 普通
- やや不満
- 不満



ウェブでの開催について

29 件の回答

- 参加しやすい
- 参加しにくい



静作

調査事業

県士会員で認知症事業に参画している方を把握し、実態調査を今後行っていく予定。どの程度のOTが、どのような取り組みを行っているのかを調査し、情報交換ができる場の提供を検討している。

地域事業

静岡市では令和2年に、認知症の方やその家族への総合的な支援を行う中心拠点「静岡市認知症ケア推進センター“かけこまち七間町”」がオープンしている。市からの依頼により、リハ職（PT,OT）で認知症予防講座を実施しており、プログラムの運営を行っている。また、静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会として会議への参加をしている。

浜松市の事業として、在宅医療・介護連携推進事業「知って得するお出かけ講座」に参画。市民向け（主に地域の高齢者）に認知症予防講座を実施している。



かけこまち七間町

家族会、認知症カフェ、RUN伴

「県希望大使」として当事者の立場で情報発信する方の支援を、ピアサポーターとしてOTが活動を支援している。

9月の世界アルツハイマーデーに合わせて、RUN伴や家族会のイベントに参加予定。